

I C T 学習教材コンテンツ活用実践事例

		学校名	県立むつ養護	学校
授業について	教科領域名 (✓又は■で記入する。)	<input checked="" type="checkbox"/> 国語 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 算数・数学 <input type="checkbox"/> 理科 <input type="checkbox"/> 外国語・外国語活動 <input type="checkbox"/> 生活 <input type="checkbox"/> 音楽 <input type="checkbox"/> 図画工作・美術 <input type="checkbox"/> 体育・保健体育 <input type="checkbox"/> 技術・家庭 / 職業・家庭 / 職業 / 家庭 <input type="checkbox"/> 特別の教科 道徳 <input type="checkbox"/> 総合的な学習（探究）の時間 <input type="checkbox"/> 日常生活の指導 <input type="checkbox"/> 生活単元学習 <input type="checkbox"/> 作業学習 <input type="checkbox"/> 遊びの指導 <input type="checkbox"/> 特別活動 <input type="checkbox"/> 自立活動 <input type="checkbox"/> その他（ ）		
	単元(題材)名	名前を書いたり、読んだりしてみよう。		
	単元(題材)の目標	・物や生き物、食べ物などの読み書きできる名前を増やす。		
学習集団と実態	学部・学年・人数	中学	部	2、3 年 3 人
	本単元(題材)における学習集団の主な実態	<ul style="list-style-type: none"> ・平仮名を読んだり、書いたりできる生徒や読むことはできるが書くことは難しい生徒が見られる。 ・名前を知っているが、部分的に文字を間違えて覚えていることがある。 		
I C T 活用について	使用した支援機器・教材の名称	PC、電子黒板		
	使用したアプリケーションの名称	Safari		
	主な活用の用途 (✓又は■で記入する。)	(複数選択可能) <input type="checkbox"/> コミュニケーション支援 (<input type="checkbox"/> 意思伝達支援 <input type="checkbox"/> 遠隔コミュニケーション支援) <input type="checkbox"/> 活動支援 (<input type="checkbox"/> 情報入手支援 <input type="checkbox"/> 機器操作支援 <input type="checkbox"/> 時間支援) <input checked="" type="checkbox"/> 学習支援 (<input checked="" type="checkbox"/> 教科学習支援 <input checked="" type="checkbox"/> 認知発達支援 <input type="checkbox"/> 社会生活支援) <input type="checkbox"/> 実態把握支援		
	I C T 活用のねらい	文字の読み上げや、聞いた言葉を書くことに不安がある子どもが自信をもってできるようになる。		
活用の状況と支援	<ul style="list-style-type: none"> ○活用場面 <ul style="list-style-type: none"> ・国語の授業（物の名前や文字を覚える学習） ○行った支援 <ul style="list-style-type: none"> ・物や生き物、食べ物などの画像や名前の文字を電子黒板に映して視覚的にイメージすることで、生徒が音声で答えたり、文字で書いたりできるようにした。 ○生徒の様子・変容 <ul style="list-style-type: none"> ・画像と名前の音声結び付いて、答えられることが多かった。 ・画像を見て名前の文字を書くことにまだ不安がある様子が見られた。 ・以前行った授業と同じ画像を使って振り返りをしたことで、学習したことをすぐに思い出すことができていた。 			